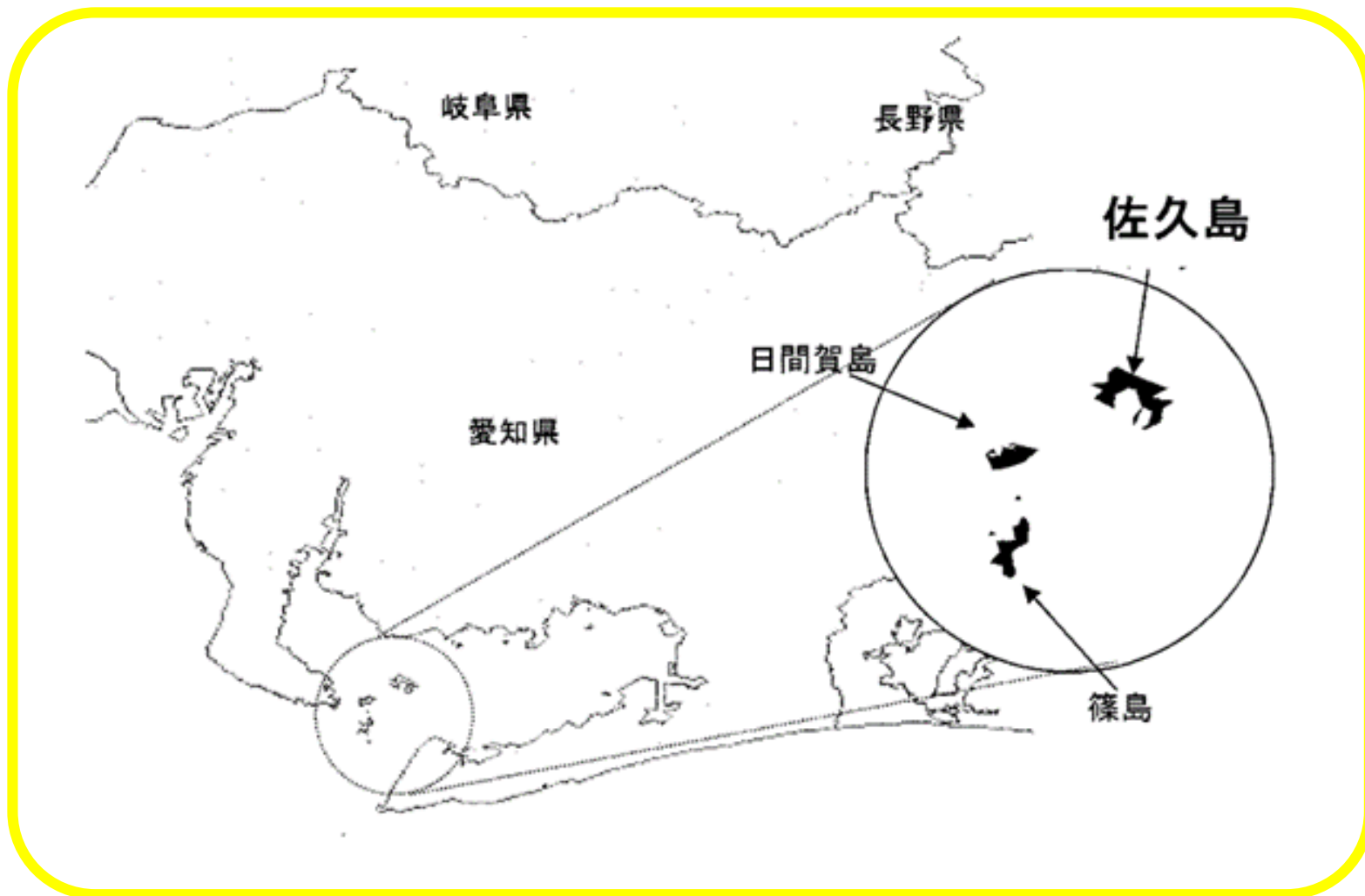


あいちけん にしおし さ く しま

愛知県 西尾市 佐久島

西尾市 交流共創部 佐久島振興課



愛知県三河湾に浮かぶ3つの有人離島のひとつ「佐久島」

「佐久島」は西尾市、「日間賀島」「篠島」は南知多町と行政区が異なります。

成り立ち

佐久島は約2500万年前に海中で堆積して出来た島で、三河湾のほぼ真ん中に位置し、面積は1.81km²。海岸線の総延長は約11km。標高は高い所で38.0m。

崇神天皇（すじんてんのう）の頃（前1世紀）、伊勢の斎宮の郷に作彦という臣がいました。伊勢志摩の島を見回る折に島を訪れ、その景勝を大いに気に入って移り住み、農業を始めたことから「作島」と呼ばれるようになったと伝えられています。

佐久島の地層からは縄文土器の破片が発見されており、弥生時代のものの貝塚も三か所見つかっています。1世紀から3世紀にかけて作られた、さまざまな様式の弥生式土器も出土しています。

海を生活の場とした海部族の末裔たちによって、江戸時代には海運業で繁栄しました。八剣神社本殿や、八日講祭り、西の盆踊りは、そのころの佐久島独自の文化を今に伝えています。

昭和29年、佐久島村は一色町に編入合併。

平成23年一色町は吉良町、幡豆町とともに西尾市に編入合併されました。



佐久島全景

アートの島

佐久島のアートは、国土庁の島づくり構想がきっかけでした。

平成8年に「島を美しくつくる会」を発足。島民との協働作業が始まりました。島の人たち総出で環境整備を始めました。有名なアーティストが来島して話題性もありました。が、だんだん島の人参加が減ってきて、このままでよいのかという声さえ上がってきました。

そこで、もう一度島の人たちで島を考えてもらうことになりました。黒壁の路地が続く家並み、迷路のような細い路地、ゆったりとした時間の流れなど、当たり前のことが島の財産だと気付きます。

平成13年にはアートプロデューサーを変更し、「祭りとアートに出会う島」をテーマに「三河・佐久島アートプラン21」が始まりました。

島の伝統であり、島の人たちをつなぐ祭りと、現代表現であるアートがお互いに刺激し合うように仕掛けました。

家並み、道路整備などは島民が、アートは専門家だと分業させ、取り組みの仕方も変更しました。

野外展示作品は展示期間が終了しても島に残し、いつ来てもアートに出会えるようになっています。

「アートを通して佐久島を観て、感じてほしい」と思いを語るプロデューサーは、佐久島の隅々までを知り尽くした人が担っています。



アート作品：かもめの駐車場/木村崇人

信号もコンビニもない ゆったりとした時間が流れる島

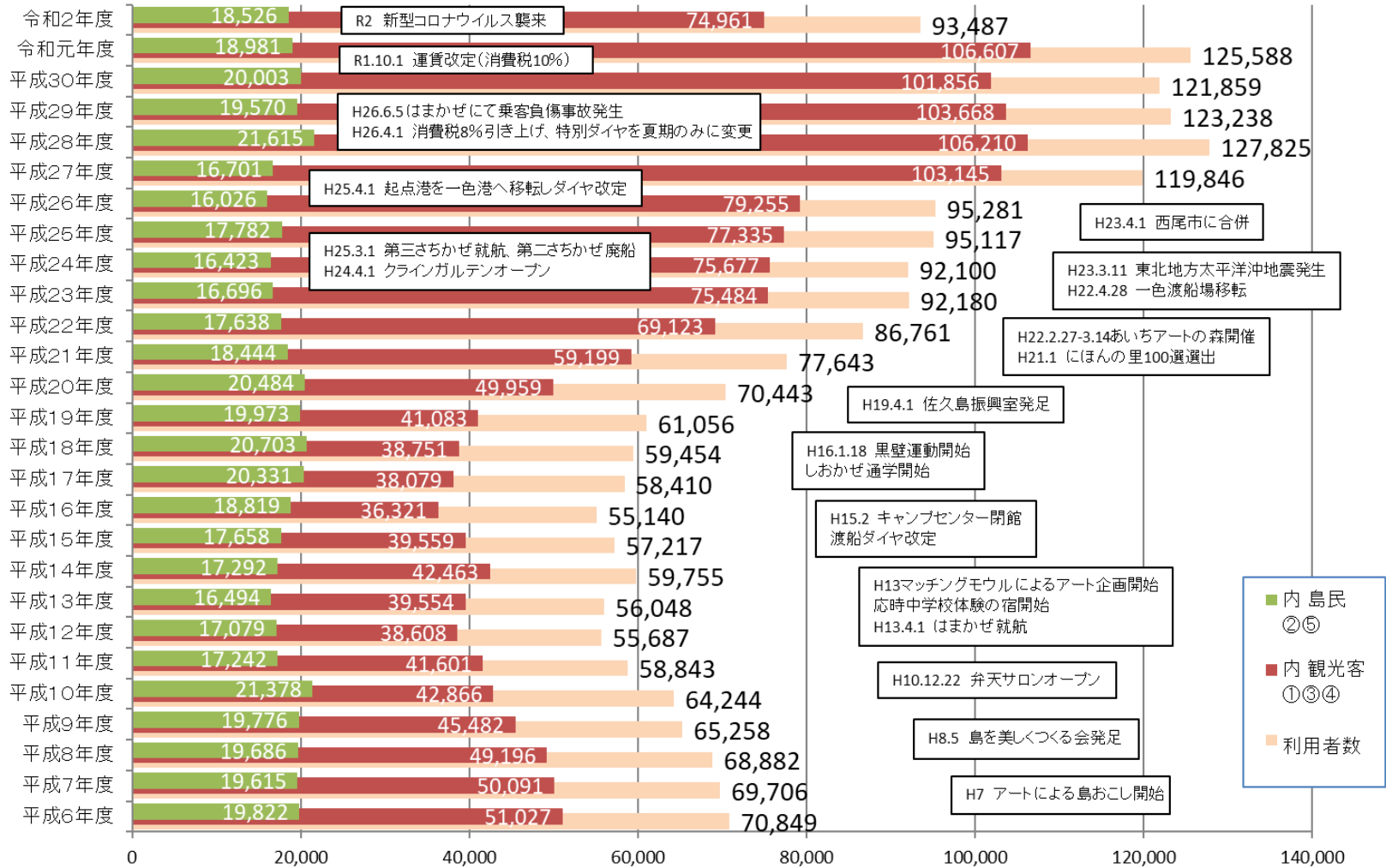
佐久島の人口	令和3年7月1日現在	216人 119世帯 内65歳以上 120人（55.6%）
佐久島の主な産業	漁業（アサリ漁、なまこ漁など）・観光業	
佐久島の交通	名古屋から名鉄電車50分～西尾駅下車 西尾駅から路線バス30分～佐久島行船のりば下車 佐久島行船のりば（西尾市一色港）船20分 1日7便が往復	
佐久島の生活	水道・・・150mmの海底送水管 電気・・・海底送電ケーブル 情報通信・光回線 ごみ処理・毎月1回台船で本土に運搬 （生ごみは町内会で管理する生ごみ処理機で処理）	
公共施設	西尾市佐久島出張所 西尾市佐久島診療所（月・水・金のみ開院） 愛知県西尾警察署佐久島駐在所 西尾市消防佐久島分遣所（24時間常駐） 西尾市立佐久島しおさい学校（小・中・義務教育学校） 西尾市立佐久島保育園（現在休園中・令和4年開園予定）	

三河湾国定公園（第2種特別地域）、南知多県立自然公園（一部）に指定されています。

観光客数について

佐久島へ訪れる観光客は市渡船利用者でカウント、海上タクシー、マリレジャー等の利用者は含んでいません。近年10万人をキープしています。

西尾市渡船 利用者数推移



① 大島公園

海釣りセンター

佐久島海釣りセンター

東港

太井ノ浦

佐久島東側位置図

①大島公園



1月2月は、梅と水仙が満開でよい香りに包まれます。

現在

アート作品、梅園、旧海釣りセンター管理棟

今後

デイキャンプ、野鳥観察用四阿、自然観察（磯、植物等）場所
SDG s を見据えた環境学習を推進。
Wi-Fiを設置出来るよう検討中。

①大島公園内 海釣りセンター

昭和60年度建築
昭和61年度開業



釣り桟橋遠景。潮通しのよい好漁場である



現在の釣り桟橋入口

現在

令和元年度に行った老朽化・耐震調査の結果、桟橋部分は補修、取替工事が必要となり、危険箇所があるため使用禁止

今後

釣り桟橋撤去の方針



佐久島西側位置図

② クラインガルテン（宿泊滞在型農業体験施設）

平成 23 年度建設
平成 24 年度開業



併設のバーベキュー施設は観光客も利用可能



年単位で貸出。宿泊棟前の畑は耕作必須条件。

現在

遊休農地の有効活用と定住促進（おためし移住生活）のため建設。
光回線完備

今後

令和 3 年度より企業向けに貸出開始。ワーケーション利用を期待。

佐久島の空き家



高校生になると島を離れる子ども達は、漁師か民宿を継ぐしか島にはもどれない。家は古くなって建て替えもなく時間だけが過ぎていきます。ここに暮らしたいという付加価値を見出せるよう、現在は地域おこし協力隊と共に未来に向けて準備中です。

こどもの声があふれる島にしたい。 島民の願いです。

- 先祖代々受け継がれる佐久島太鼓の奉納
- 佐久島のお祭り & 餅投げ
- 自給自足できる畑



佐久島太鼓奉納

これらは、子供がいないとつながりません



もうじき餅投げが始まります。おばあちゃんもこどもも島じゅうの人が集まります。

公式ウェブサイト: 癒しとアートの島 佐久島

<https://sakushima.com>

この想いを実現できるよう力をお貸してください。

愛知県 西尾市 交流共創部 佐久島振興課

TEL 0563-72-9607

FAX 0563-72-3502

sakushima@city.nishio.lg.jp



アート作品：おひるねハウス/南川祐輝

佐久島によい風が吹きますように・・・